



催眠

異端審問

ふたなり女戦士の屈服射精

聖プレストン教会



はあっ…

ああ…

ああっつ

はあっ
ああっ…

は

は

は

どうか
御慈悲をお…

は…

カワマ様あ…

天国を望むか

はい…

ならば神に忠誠を誓い
光に心を開くのだ

誓い…ます…

お前の口は自然と
仲間の名前と
居場所を話す…

マタリと…イレーネ

マタリは…を
もって…います

場所は

今…

教会領地
ガルベルム



ギィ...

ノックは
2・2・3回

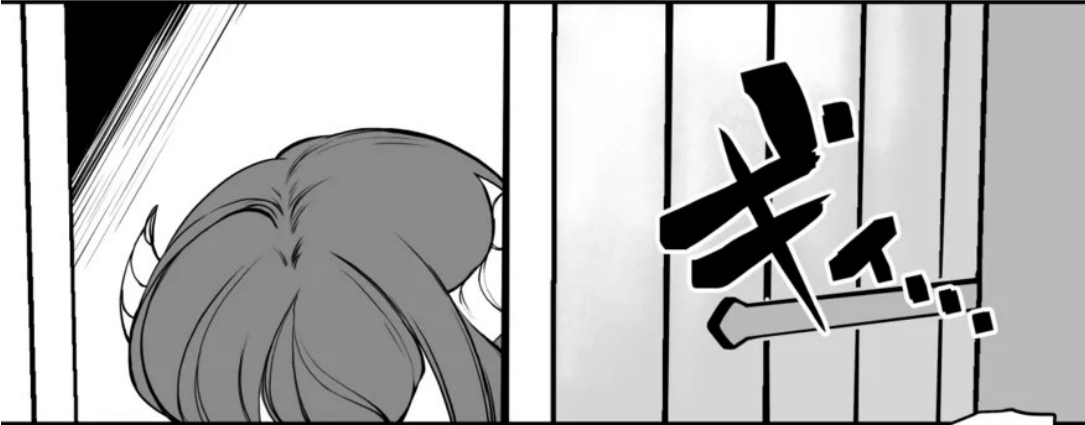
お前...
教会の...!?

アム...

戦士マタリと
娼婦イレーネだな

教会への
出頭を命じる

...わかったよ
今支度するから







マタリっ!?

イヤああっ!

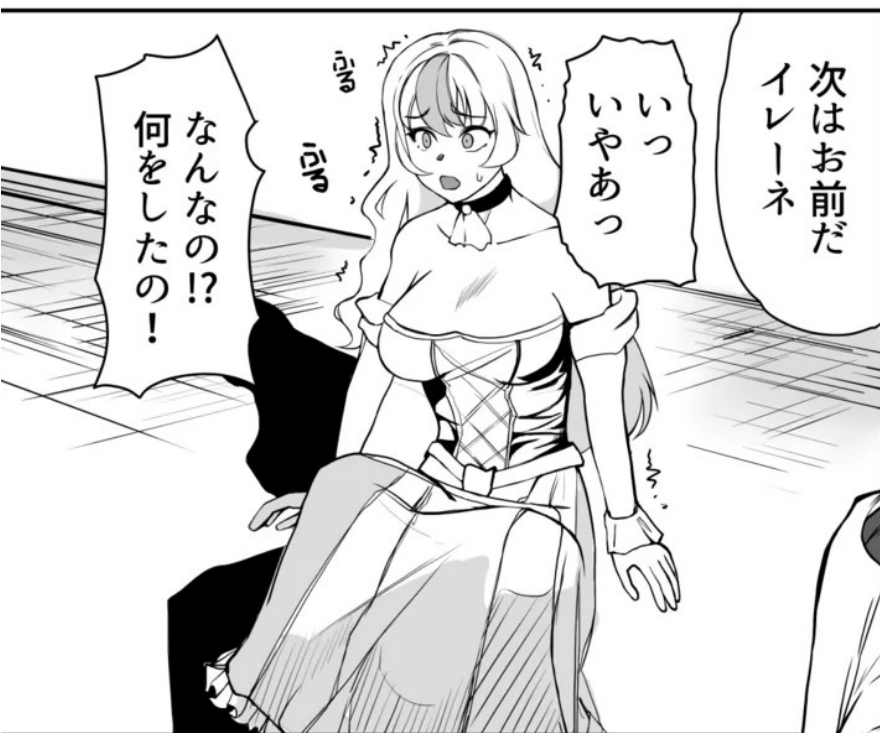


くたあ...



しびる...

びびる...



なんなの!?!
何をしたの!

いつ
いやあっ

次はお前だ
イレーネ



力が抜ける
どんどん抜けていく

弱く
弱く
弱くなる

シュウウウウ

?

あうう

は...

う...?

みるっ



いやああ

教会地下
監獄

何故だ…
力が入らねえ

これは神に背く
汚らわしい体だ

罪深いと
思わないのか

何だと!?

う……っ

神の器は唯一であり
複数の器が
あつてはならない

だがお前は肉体に
二つの器を宿している



今からその罪を
白日の下に曝してやる

あっ!!

やっ
やめろっ

嘘だろ!!
何でコイツが
それを...?



そっ
そこは

ゴッ

コッ



くっ!!

ボーン!



これこそがお前の
罪なのだ!!

クッ
クッ

神の子である我々に
複数の本質が
あるわけがない



ふん

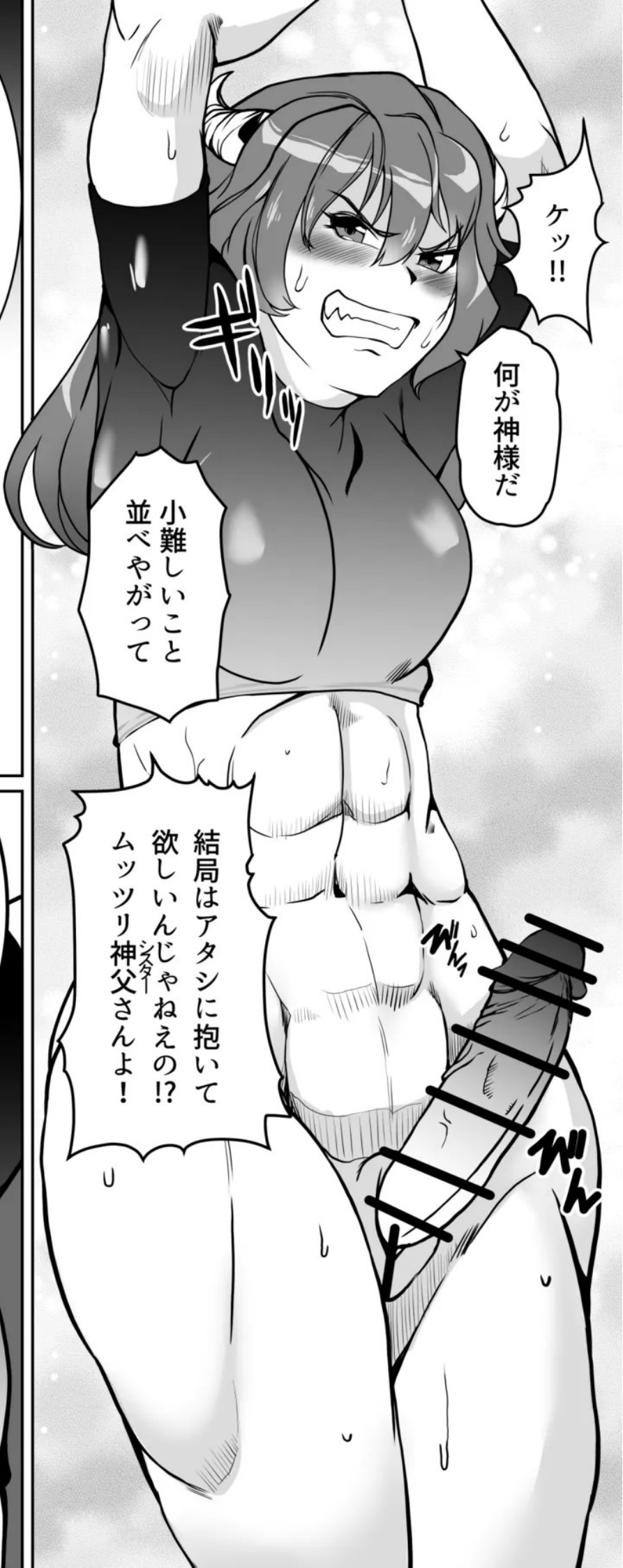
コレが女を狂わせ
教義に背かせる
モノか:

クッ
クッ



異端であるお前は
私の手で更正
されなければならない

ぎゅっ



ケツ!!

何が神様だ

小難しいこと
並べやがって

結局はアタシに抱いて
欲しいんじゃねえの!?
ムツツリ神父^{シスター}さんよ!



まずは穢れを
一滴残らず
搾り取ってやる

おう
やってみろ!

ブツ殺してやる

ハルルル



私が指を振ると
お前は何度でも

この指を見る
じーっと見る

射精する

やあ

す...
アハハ



頭の中に
星が輝く

ひとつ

ふたつ

三つ 四つ
五つ 六つ 七つ 八つ

もう数えられない



エ... ..



お前の
ペニスは

絶頂する



何...だ？

星が

まぶしい

まっし...ろ



いく♡のっ
止まんにやいつ!!

いやあつ

出しているのは
お前自身だぞ

ふん

とつ
とめてつ!!
だめえええつ!!

アッ!

アッ...
アッ...

アッ...
アッ...

ズン
ズン
ズン

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ

ガッ

ガッ

カッ

アッ...



お前の体と心はもう完全に我的暗示に落ちた

もはや自分の意思とは関係なく何度でも達する

さっさっ触ってっ

直接シゴいてくれっ

ダメだ

そんなあっ♡



お前は私の暗示で絶頂する

射精

イ…かない!

イケ

もっ…
負けな…い…

うっ



熱い 熱い 固まりが先端に集まる

快感が尿道を通りこみ上げる…限界を超え爆発する

出したら負け…る!

だ…

こ…のクソ…神父…があ

負…け…





入れ



この女は
オマエの伴侶だな

はい...

マタリは
私の...恋人です

この女は自分が
異端だと
認めようとしな

びん...



はい

カワマ様

アッ



マタリが
罪人であると

お前が証言しろ





とける
脳が♡

脳が覚えたら
戻れなくなる

コレ駄目
知っちゃ駄目なやつ

コレのために
何でもできちゃう



切ないか

カワマ様
カワマ様っ

忠誠を誓えば
楽にしてやるぞ

ち♡かいま
しゅんしゅんしゅんしゅん!!



嘘...!
こんな...

今までのどんな
セックスより

薬より
肉棒より

子宮に
効くうううう...っ!

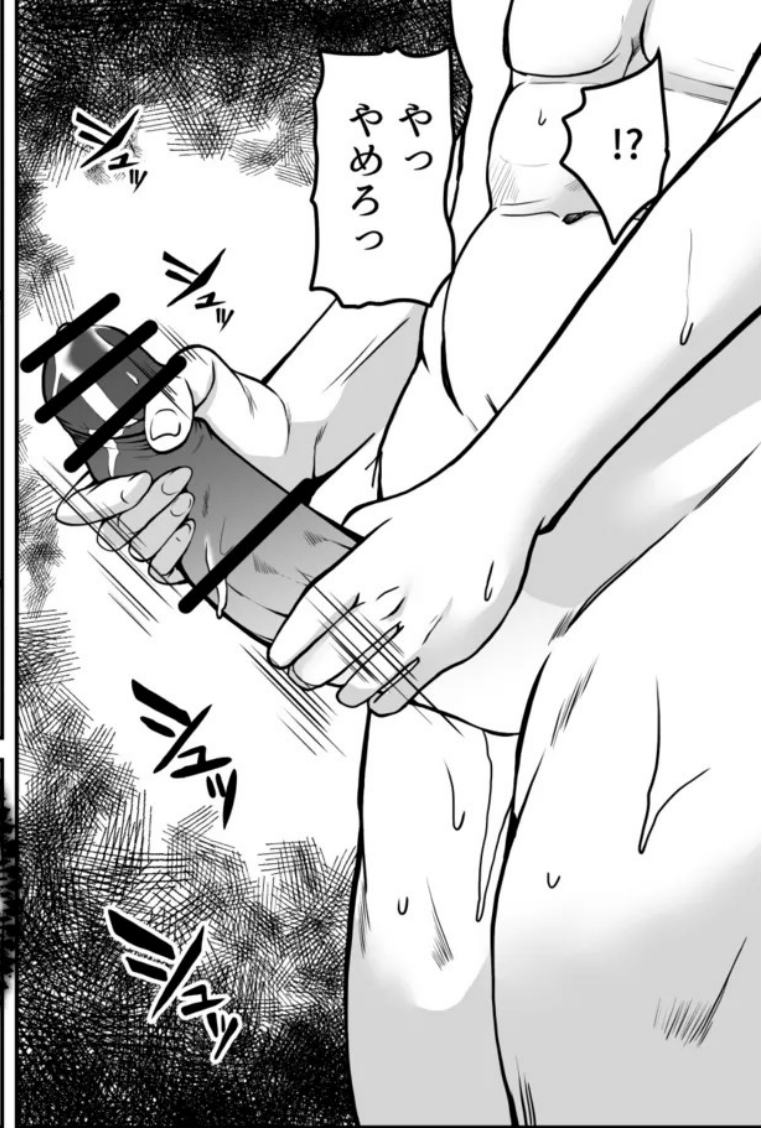




手が勝手に

このままじゃ
ぶっかけちまう

イレーネ
起きろっ



!?

やっ
やめろっ

シュッ
シュッ
シュッ



自分の指じゃ
ないみたいだ

気持ちいい
このまま出したい

はあ
はあ

違うっ
そんなこと
思っていない!



お前はいやらしい
変態なのだ

あ
アンタの
術なのか!?

手がっ
止まんねえっ

やめろっ
止めてくれっ

シュ
シュ
シュ
シュ
シュ



何とも浅ましい

それがお前の
本性だ
マタリ



見せてやれば
いいだろう

お前の汚らしい
射精を

シュ
やめろっ
やめろっ
やめろっ

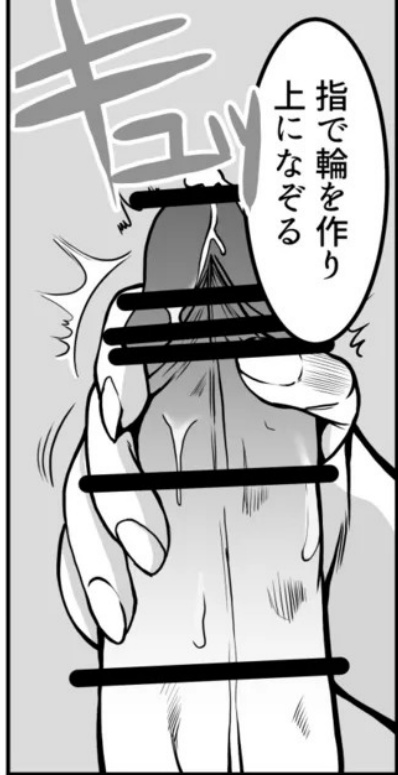


やめつ
やめろお!

指が…
勝手に動く



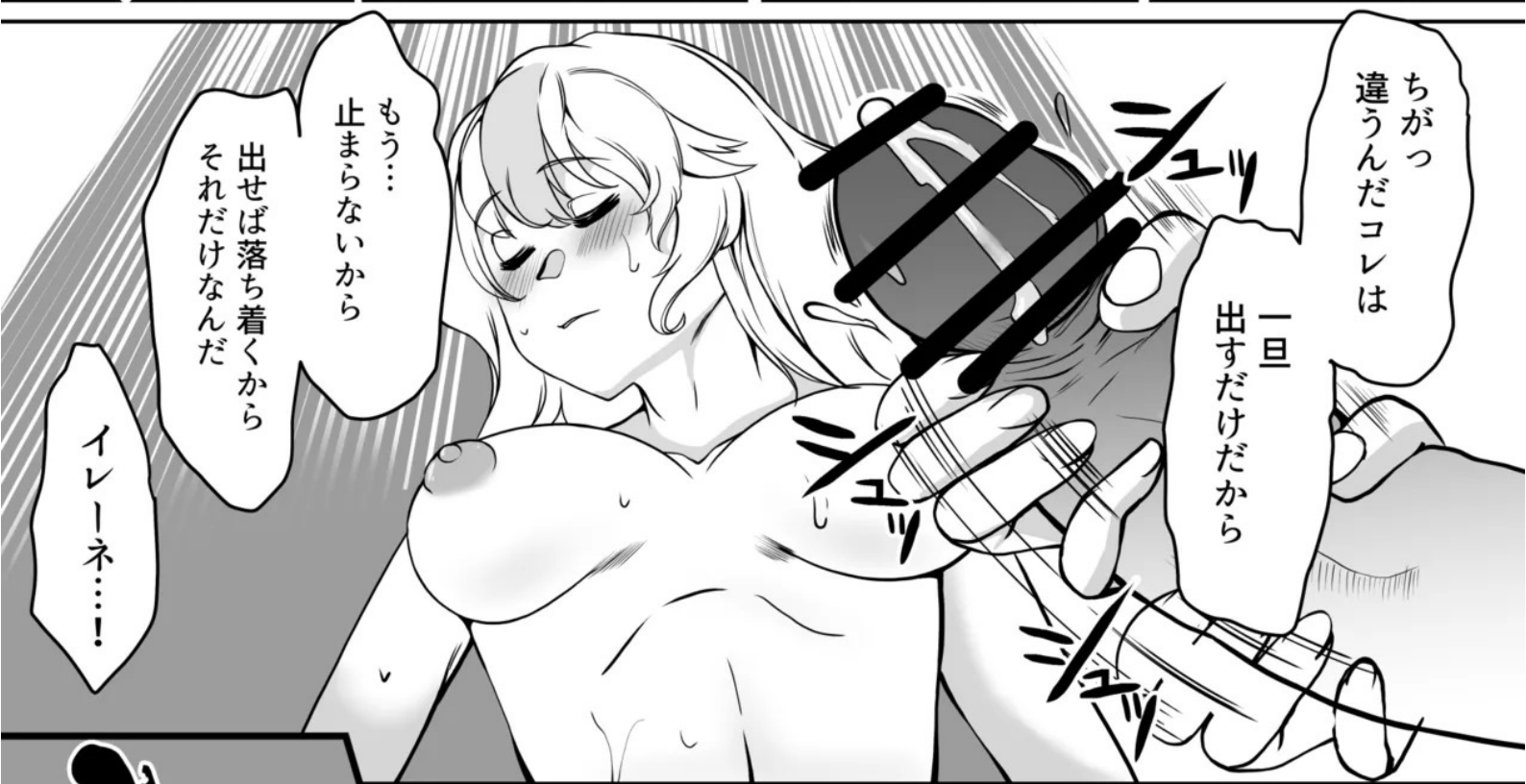
ゆっくりと
締め上げる…



指で輪を作り
上になぞる



激しい動きは
いけない



出せば落ち着くから
それだけなんだ

もう…
止まらないから

イレエネ…!

ちがつ
違うんだコレは

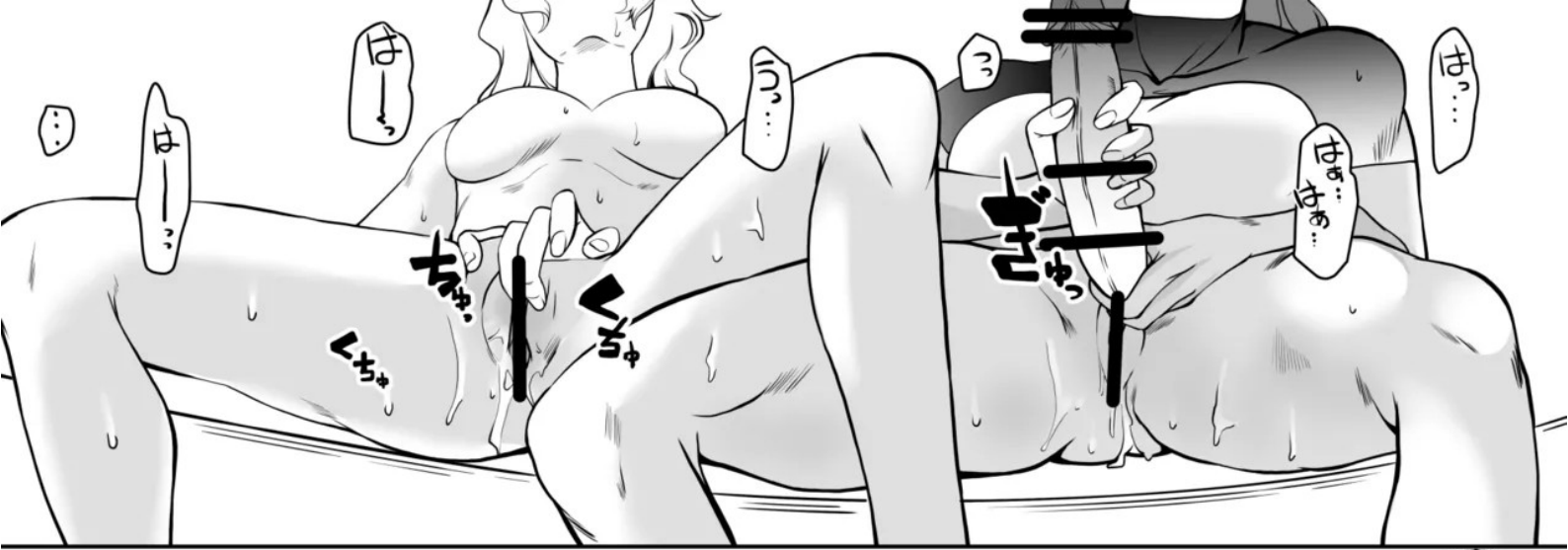
一旦
出すだけだから



起きろ









おびおび

今つダメツ
搾っちゃつ

マタリの指い
凄いいい!

おびおび

な

ちんぽ

強いっ

ちんぽ

うんっ♡

負けるっ
このキラキラ
アタシの頭
駄目にしちゃうっ

イク♡
イツくっ
あ♡あっ

イビビッ
イビビッ

脳みそっ溶けて
チンポ♡壊れる

おび

こんにゃの
覚えちゃだめツ

イクの止まんない
お漏らし止まんないのお

おっ

おびおび...



イビビッ
イビビッ

イビビッ
イビビッ

イビビッ

イビビッ

今お前達の頭を
駆け巡るもの

それが
私の「洗礼」だ

絶頂が脳裏に
焼き付けられて
離れまい



これだ

無知蒙昧の輩に
教義を授け

正義により
賊徒を屈服させる

この喜びに
勝るものはない

処刑は簡単だが
生産性がない
故に...

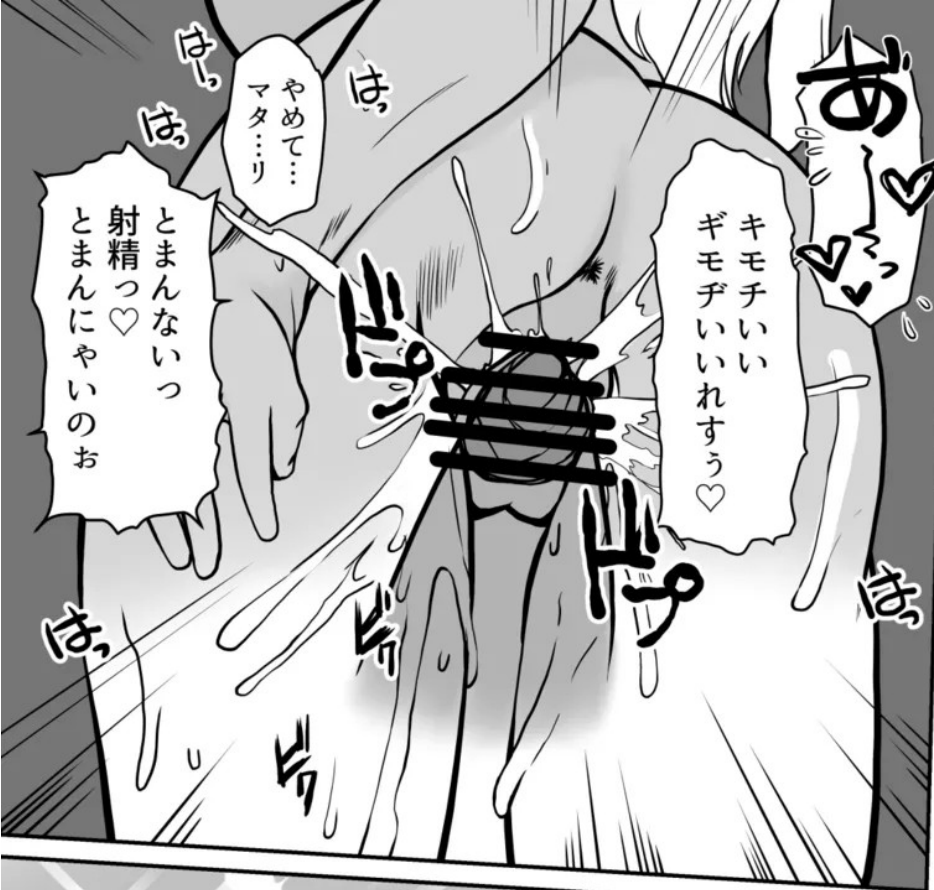
私の猟犬として
飼ってやる

これよりお前達は
自分を捨てる

罪の荷を下ろし
生まれ変わるのだ

存分に...





やめて…
マタ…リ

キモチいい
ギモチいいれすう♡

お母さん♡

とまんないっ
射精っ♡
とまんにゃいのお

やっ♡♡

たっ
助けてっ

お母さん♡

スゴ…

ママリっ
マタリっ!!

誰に助けを
求めている

ママリい
助けてえ…

ママリはもう
お前の声など
聞こえていない

う…そ…!!
そんな…

ばあさん

お母さん

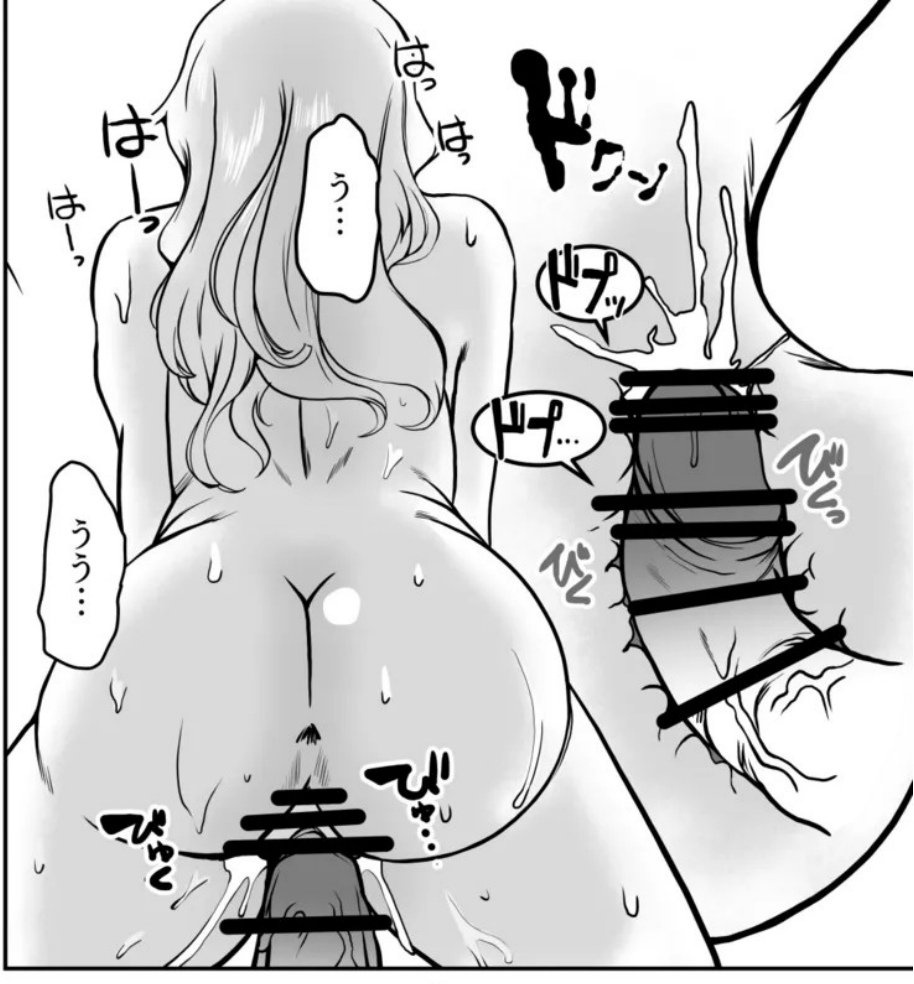
お母さん

お母さん



エレベネ
聞こえるか

私の声が



私の手で絶頂に
落とされたいか?

はいい...

眠いか?
オチたいか?

おっ
オチたい
オチたいいい!

おねがいひましゅ
カワマさまあ...♡



オチ...

オチる
オチる...



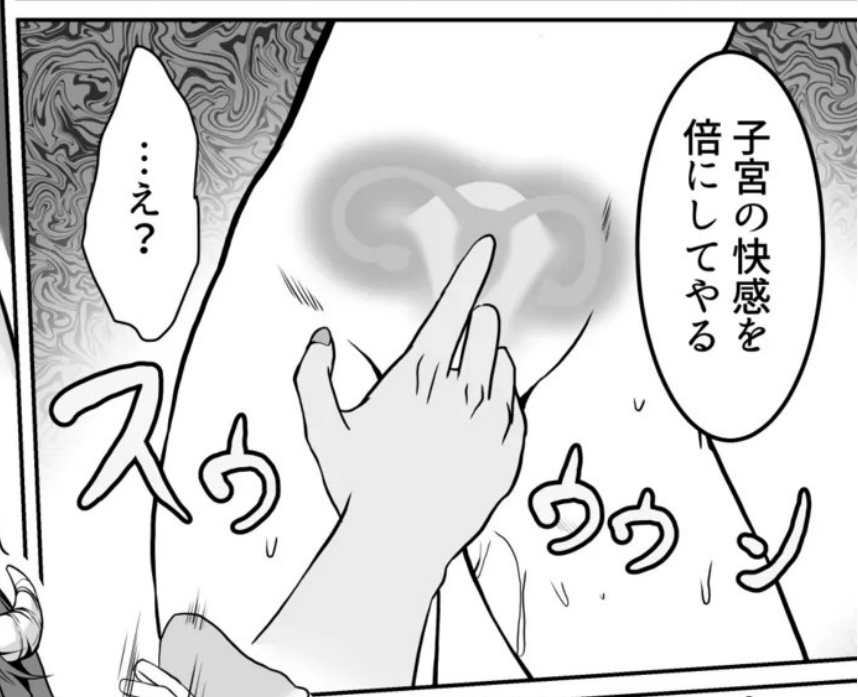
まだだ!!



体が重い
まぶたが重い

体はもう限界

次の絶頂で夢の中へ
オチてしまえそう





あー
あー
あー

ズル
ズル

ズル
ズル
ズル

ズル
ズル
ズル

ズル

あー
あー
あー

ズル
ズル
ズル
ズル
ズル

いやっ

ズルズル

ダメええええっ!
れ
れ
れ

いっせ

いっせ……

やめ……

オ…オオ♡

出ル…出ルツ

ワタシ…
射精…スル…

ハチ…キユウ
うっ♡

もうっ
どうにでも
してえっ…

マタリい…

あぐううっ!!

ばちゅ

ひいささっ!

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ





10
フ!!

カ...

カ...

カ...

カ...

カ...



ゆーっくりと
脳が溶けていく

身体中が溶けて
下に流れていく

螺旋を描いて
流れていく
とてもいい気持ち

そして...



全員
準備はいいな

頃合いか



数日後



二人とも



父なる神に
逆らう賊徒を
殲滅する

今日までの信仰が
試されると思え



今夜の狩りは
いつもとは違うぞ

「決着」だ



道案内を頼むぞ

カワマ様

はい

我々に
お任せください



どうか私達を
貴女の為に
お使いください

光の
示すままに…